

日本学術会議主催公開講演会について (企画案)

1. 趣 旨 (ポスター・チラシでの説明文)

昨年12月に出された中央教育審議会の答申「学士課程の構築に向けて」は、現在の日本の学士課程教育が、本質的な意味での立て直しを必要としている状況にあることを指摘し、そのための重要な柱として、分野別の質保証の枠組みづくりを促進すべきことを提言しました。

日本学術会議では、文部科学省からの審議依頼を受けて、昨年来よりこの課題について検討を進めてきましたが、これまでの審議結果について広く公開の場で報告し、多様な方々からのご意見をいただくために、文部科学省並びに朝日新聞社とともに、公開講演会「大学教育の分野別質保証に向けて」を開催致します。

大学関係者の方々はもとより、日本の大学教育の在り方に対して関心を持つ各方面の方々のご参加をお待ちしています。

2. テーマ 「大学教育の分野別質保証に向けてー日本学術会議からの報告」
3. 主 催 日本学術会議、朝日新聞社、文部科学省（交渉中）
4. 開催日 11月23日（月、勤労感謝の日）
5. 時 間 13：30～17：00
6. 会 場 文部科学省講堂（収容人員約600人）もしくは日本学術会議講堂（収容人員約300人）

7. 主要な案内先

案内先	件数	案内方法	申し込み方法
一般（アサヒコム）	—	アサヒコムの教育ページと朝日新聞紙面で告知いただく	アサヒコム教育ページから参加申し込み
大学教育に関心を有する人達のメーリングリスト		アサヒコムからお知らせの投稿をいただく	
各大学の教育センター等の長（もしくは学長）	約 750	学術会議から郵送 ポスター×1、チラシ×3	学術会議で受け付け
学協会の長 ※開催案内とともに教育面での取組みについてのアンケート調査を実施	約 1,800	学術会議から郵送 チラシ×1、アンケート同封	
学術会議の会員・連携会員	210+2,000	学術会議からメール (学術会議ニュースレター)	
3分科会の委員	40	学術会議からメール	
その他（大学団体、認証評価機関等）	若干名	学術会議から郵送	

8. プログラム

あいさつ：金澤一郎（日本学術会議会長） 5分

文部科学省 5分

第一部 講演 13：40～15：00

パネリストからのプレゼンテーション（何れも仮題）

「分野別質保証のための参照基準について」 広田照幸（日本大学教授） 20分

「今日的な教養と学士課程教育」 小林傳司（大阪大学教授） 15分

「大学教育の職業的レリバンス」 本田由紀（東京大学教授） 15分

「大学教育についての産業界の考え」 榎井勝人（日本ユニシス代表取締役社長） 15分

「質保証システムを如何に構築するか」 北原和夫（国際基督教大学教授） 15分

休憩 15分 質問用紙の受付

第二部 パネルディスカッション 15:15～16:55

パネリスト：第一部の講演者

コーディネーター：山上浩二郎（朝日新聞編集委員）

あいさつ：朝日新聞社 5分

司会：吉川裕美子（大学評価・学位授与機構教授）

9. 事前準備

- ・ポスター（A2）及びチラシ（A4）の作成 →案内に同封して発送
- ・当日配付資料の作成（レジュメ、質問用紙、アンケート等）
- ・聴講券の作成・発送（ハガキに印刷できるか学術会議側で検討）
- ・会場設営